



ちょっと待って！ 運転免許証を返納する前に

～「本人確認」に便利な「住民基本台帳カード」はいかがですか？～

- 運転免許証を返納してしまうと、写真付の身分証明書がなくなってしまう方いませんか？
- 写真付の身分証明書がなくて困っている方いませんか？

金融機関の口座作成の際、携帯電話の契約の際、市役所窓口での証明書の申請の際など、写真付の身分証明書が必要になる機会はたくさんあります。このような時は、市役所で発行する「住民基本台帳カード」をお勧めします！運転免許証と同じように写真付の身分証明書として利用することができます。（自動交付機利用可）

【交付手数料】平成23年3月31日まで無料

通常は500円、電子証明書を格納する場合は別途500円。



【申請方法と注意事項】

- ・運転免許証やパスポートなどの写真付身分証明書をお持ちになり、千代田窓口センターへ申請いただければ即日で交付を受けることができます。
- ・霞ヶ浦窓口センターや中央出張所・宍倉出張所でも申請できますが、機器の都合上即日交付はできません。
- ・すでに免許証を返納してしまった方や、写真付の身分証明書をお持ちでない方についても、即日交付はできませんが、後日、市から郵送される照会文書を持参いただくことで、交付を受けることができます。
- ・窓口の混雑状況などにより即日交付ができない場合がありますのでご了承ください。

問い合わせは 市民課千代田窓口センター ☎内線 1132～1134

皆さんの個人情報を守るため、ご理解とご協力をお願いします。



Q 窓口で本人がきているのに本人確認をする必要があるの？

A 本人確認をすることは法律上のルールです。（平成20年5月施行）

★勝手にうその届出がされないように！

★他人に自分の情報が漏れないように！

…全国で本人確認を実施しています。

住民票や戸籍は、個人情報が記載されている大切な帳簿です。近年、これらの大切な情報を狙い、第三者や本人になりすました人物により、本人の知らない間に、戸籍・住民登録の異動、各種証明書の取得などがなされる事件が全国的に発生しています。

虚偽の届出や申請を防止するため、本人確認が法律上のルールとなっています。さらに、代理人や使いの方が届出や請求をする場合は、代理権限があるかなどの確認（委任状の添付など）も行います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本人確認の書類は、下記のように手続きにより異なります。詳しくは、あらかじめ申請前に電話などでお問い合わせください。

窓口で本人確認が必要な手続きと確認する書類

本人確認が必要な手続き

- 戸籍届出、住民登録の異動
（転入、転出、転居、世帯合併・分離、世帯主変更、婚姻、協議離婚、養子縁組・離縁、認知など）
- 戸籍、住民票、印鑑登録証明、外国人記載事項証明、税証明の取得

➡下記の表1または表2の書類で本人確認をしています。

※戸籍届出・住民登録の異動を表2の本人確認で行なった場合は、後日届書を受け付けたことの通知書を送付しています。

※戸籍または税証明を表2の本人確認で申請する場合は、(イ)の中の組み合わせでお願いします。



表1

1点で本人確認できるもの

- ・運転免許証
- ・写真付き住民基本台帳カード
- ・パスポート
- ・外国人登録証 など

表2

2点以上の組み合わせで本人確認できるもの

- (イ) ・写真なし住民基本台帳カード
- ・各種健康保険証
 - ・各種年金手帳・年金証書
 - ・印鑑登録証と実印 など
- (ロ) (イ)の中の1つとの組み合わせが必要
- ・学生証・社員証
 - ・預金通帳、キャッシュカード
 - ・診察券 など

問い合わせは 市民課千代田窓口センター ☎内線 1135

市長随想

20

「湖山の宝」探し

「湖山の宝」は、かすみがうらが市が推奨品として認定した商品に名付けたブランド名である。10月29日、推奨品として4商品の初認定を実施した。本格やさいも焼酎「湖山」、かすみがうら式「フレッシュアップジュース」、志士庫栗「サンマロン」、霞ヶ浦帆引き船模型で、地域の特産品を原材料に、また文化的遺産を題材にした優れた逸品である。

かすみがうらが市は東に全国第二位の面積を誇る湖、霞ヶ浦に面し、西は関東の名峰として名高い筑波山系の山並みを有し、自然の豊かな地域である。そうしたことから、地域の資源を探し、発掘する意味も含め、市のブランド名を「湖山の宝」と名付けた。

この地は古くから常世の国（豊かな）と称し、恵まれた常陸野の台地には四季折々の果物が実り、湖岸の水辺にはれんこんが栽培され、わかさぎ、えびなどの小魚を材料とした佃煮・煮干等の水産加工による地場産業も営まれてきた。帆引き船は明治時代に地元の折本良平氏によって考案され、人力から風を利用した画期的な漁法と言われている。

こうした地域の歴史、文化、人物、自然、農林水産物などを活用し、商品の物語やスタイルを確立して普及し、広く消費者に認知していただくことがブランド化を高めるということである。

ふるさとの魅力や競争力を高めることと併せ、市民自身が高まることへの想いを深めていくことが、物心両面のまちづくりにつながると思っている。

かすみがうら市長 坪井 透